

様式第二号の十三（第八条の十七の二関係）

（第1面）

特別管理産業廃棄物処理計画書

2021年 6月18日

大阪府知事 様

住 所

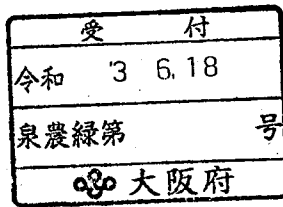
提出者 大阪府泉佐野市湊2-1-40

氏 名

星工業株式会社 代表取締役 市来 隆志

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 072-462-2606



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	星工業株式会社
事業場の所在地	大阪府泉佐野市湊2-1-40
計画期間	2021年4月1日 から 2022年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	金属製品製造業
② 事業の規模	売上高 : 878百万円
③ 従業員数	41名
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙フローチャートのとおり

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙添付（社内組織図及び各部署の役割）のとおり

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（2020年度）実績】		
	特別管理産業 廃棄物の種類	強酸	強アルカリ
	排出量	241 t	16 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業 廃棄物の種類	強酸	強アルカリ
	排出量	295 t	33 t
	(今後実施する予定の取組) 製造条件の見直しにより使用量低減を推進する。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃液の種類毎に配管、タンクが独立している。
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・現状維持

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（2020年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	強アルカリ
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ・特になし		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	強アルカリ
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） ・特になし		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

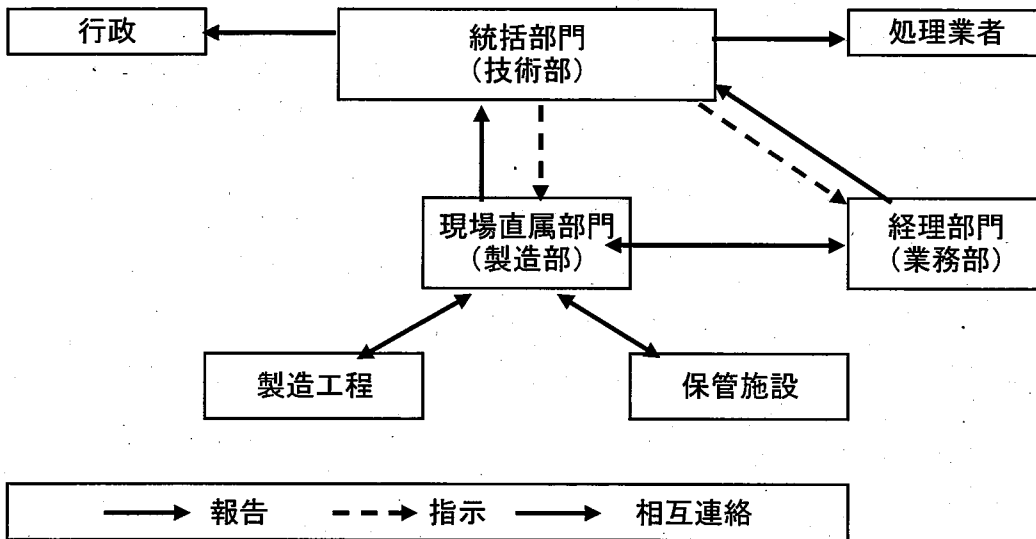
①現状	【前年度（2020年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	強アルカリ
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	強アルカリ
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
（今後実施する予定の取組） ・特になし			

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
①現状	【前年度（2020年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	強アルカリ
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（これまでに実施した取組） ・特になし		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	強アルカリ
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	0 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） ・特になし		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（2020年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	強アルカリ
	全処理委託量	241 t	16 t
	優良認定処理業者への処理委託量	241 t	16 t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
（これまでに実施した取組） ・委託処理を行う特別管理産業廃棄物は、全て中和・無害化処理を行っている。 ・定期的に処理状況の現地確認を行っている。			

②計画	【目標】		
	特別管理産業 廃棄物の種類	強酸	強アルカリ
	全処理委託量	295 t	33 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	295 t	33 t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組) ・現状維持			
電子情報処理組織の使用 に関する事項	【前年度(2020年度)実績】		
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く)	257 t	
	(今後実施する予定の取組等) ・2019年3月より電子マニフェストに移行し、順調に運用中。		
※事務処理欄			

社内組織図及び各部署の役割

【社内組織図】



【各部署の役割】

部署	役割
統括部門 (技術部)	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の発生から処分に至るまでの帳簿等を作成して統括的に把握管理 産業廃棄物の発生工程、種類毎の発生量、排出量のチェック、集計等 処理施設(事業場内・外)の定期的査察 行政に対する報告等 処理業者委託の委託契約、委託量、マニフェスト等の管理 産業廃棄物の適正管理及び減量化等に関する社内啓発 各部署間の調整及び指示 廃棄物の資源化・減量化及び適正管理について検討し産業廃棄物処理計画の策定及びその実施 最終処分場の稼動状況の把握、記録の作成等
現場直属部門 (製造部)	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の把握 各現場の施設の維持管理点検等 保管施設での保管状態の把握、記録等 上記内容を統括部門に報告
経理部門 (業務部)	<ul style="list-style-type: none"> 産業廃棄物の適正処理費用の算出 委託料金の支払方法による業者管理 上記内容を統括部門に報告

特別管理産業廃棄物発生・処理工程フローシート

【溶接線製造工程】

